

## 1940年代

### 1947(昭和22)年

- 6.10 教育後援会発起人会総会を開催して、関西大学教育後援会の設立を決定、この日を関西大学教育後援会創立の日と定める。戦後の荒廃した学園の復興を支援する在学生の父母の組織として創設され、他大学に類例のない独創的な発案で、全国の大学に先駆けて教育後援会組織が発足
- 6.21 第1回委員総会を開催して、会長に上田穉氏を選出
- 6.27 第1回役員会を開催して、入会手続き、会費納入方法などに関する細則を決定  
関西大学学部教育後援会の設立に前後して、関西大学予科教育後援会、関西大学専門部第一部教育後援会、関西大学専門部第二部教育後援会が誕生
- 8. 9 各組織連合の関西大学連合教育後援会委員会を開催
- 8.10 連合教育後援会設立総会を開催
- 11.13 連合教育後援会役員会を開催、ここで各組織の会長・副会長の協議により、将来、組織を一本化することを確認



男女共学になった戦後間もない頃の学園(旧本館前)

### 1948(昭和23)年

- 2.10 学制改革により関西大学が新制大学に転換するに際して、連合教育後援会と大学との懇談会を開き、後援会組織の将来の方向について意見を交換
- 2.17 連合教育後援会として、前年11月13日の確認により、後援会組織の一本化決定に伴い、新しい教育後援会会則草案の起草を行い、各後援会組織の残金処分方法についても決定
- 4.15 連合教育後援会委員会を開催、各教育後援会組織を解消し「関西大学教育後援会」に発展的統合を決定、統合される新たな教育後援会の会長に村田守三郎氏を選出
- 5.29 常任委員会を開催し、大学の環境整備の一環として、キャンパスにベンチの設置、マイク・照明設備の設置を決定



新制大学に転換し、学生で満員の教室

### 1949(昭和24)年

- 3.29 学校法人の宮島綱男理事長との懇談会を実施、教育後援会の手で大学に体育会館を建設することについて大学が承諾
- 4.15 学部、予科、専門部の各教育後援会組織の統合を決定
- 11. 3 体育会館が竣工し落成式を挙、祝賀会を開催し大学への譲渡式を挙



体育会館

## 1950年代

### 1950(昭和25)年

- 12.16 委員総会および名誉顧問団との懇談会で、大学が千里山花壇を買収して学園拡充整備5カ年計画を進めることに賛同し協力を決議

### 1952(昭和27)年

- 7. 7 体育実技場建設に関する打合せ会を実施
- 7.30 体育実技場起工式を挙
- 11.23 教育後援会創立5周年記念式典と体育実技場の竣工式および大学への譲渡式を挙

### 1953(昭和28)年

- 5. 1 教育後援会の寄付により秀麗寮を開設
- 10.15 ~ 21 委員総会を重ね、大学創立70周年記念に伴うキャンパス拡充計画の寄付金募集に関する打合せを実施



大学創立70周年の喜びを語り合う祝宴

### 1955(昭和30)年

- 11.29 教育後援会創立10周年の記念事業として、教育会館の建設を決定
- 12. 9 千寿会を結成、発会式を開催



教育会館1階の事務室

### 1956(昭和31)年

- 1.17 第1回教育会館建設準備委員会を開催
- 5.10 理事会から正式に外苑内の旧野外音楽堂西側の一角を教育会館用地として提供する旨の報告があり、建設場所が決定
- 5.29 教育会館の地鎮祭を挙
- 11.22 教育会館が竣工、大学へ譲渡

### 1957(昭和32)年

- 6. 6 創立10周年記念総会を教育会館の第2会議室で開催
- 12.15 『関西大学教育後援会創立十周年記念誌』を刊行



『関西大学教育後援会創立十周年記念誌』

### 1958(昭和33)年

- 2.10 工学部設置にあたり設備資金300万円を大学に寄付

- 12. 2 会報の発刊が決まり、広告掲載を常任委員に依頼
- 12. 5 会報編集委員会で「教育後援会会報」の編集について協議 ①題字は「関大教育後援会報」として葦の模様をいれ、タブロイド型にする ②写真は教育会館の外観と内部、会長、副会長、寄稿各教授の顔写真を掲載 ③常任委員がスポンサーとなり、下2段に広告を掲載 ④会則、大学の入試要項の一部を掲載 ⑤12月15日に創刊号を発刊することが決定
- 12.15 『関大教育後援会報』(創刊号)を発刊



『関大教育後援会報』(創刊号)

1959(昭和34)年

- 11.24 教育会館前道路の改装工事および街灯設置工事の竣工祝賀および大学への譲渡式を挙げる

1960年代

1961(昭和36)年

- 2.27 教育会館別館(総合宿所)の地鎮祭を挙げる
- 7. 5 西村治三郎常任委員と森本靖一郎常任幹事が法政大学後援会を訪問、法政大学後援会との交流開始
- 9. 2 教育後援会別館(総合宿所)竣工式と学校法人への譲渡式を挙げる



『関西大学教育後援会創立十五周年記念誌』

1962(昭和37)年

- 3.25 卒業生への記念品として卒業証書収納用桐箱を贈呈
- 5.25 会報を全会員に郵送することが決定
- 9.15 『教育後援会創立十五周年記念誌』を発刊



A5判冊子に体裁を改めた『会報』

1963(昭和38)年

- 6. 2 総会を誠之館特別講堂で開催、この年から全会員に総会開催案内を通知
- 10.22 『会報』(第9号)を刊行、地方父兄懇談会構想を発表、この号から「関大教育後援会報」は『会報』と改称し、A5判の冊子に刷新

1964(昭和39)年

- 4.10 旧野外音楽堂跡にプールを建設するため地鎮祭を挙げる
- 8. 8 競泳用長水路プール竣工式および大学への譲渡式を挙げる



競泳用長水路プール竣工式 テープカット

1965(昭和40)年

- 1.15 学長・学部長との懇談会を実施、大学創立80周年記念事業を推進するための記念事業募金の推進に協力
- 9.22 「地方父兄懇談会」を高松市の高松国際ホテルで初めて開催



高松市での初めての地方父兄懇談会

1966(昭和41)年

- 6. 5 総会を千里山第3学舎・217教室で開催、この年から総会終了後に「学部別父兄懇談会」を開催
- 10.18 生野支部が結成、これをさきがけに複数の支部が大阪近郊で誕生

1967(昭和42)年

- 5. 1 『会報』(第17号)を刊行、「父母の声」をはじめ掲載
- 5.10 地方父兄懇談会の大学との共催実施を決定
- 5.18 山本順應幹事が退任、森本靖一郎常任幹事が幹事に就任
- 5.27 初の全国支部長会議を関西大学会館で開催
- 6.28 地方父兄懇談会の開催県において支部を結成することが決定



幹事長就任当時の森本靖一郎氏

この年、大学の学園緑化運動に協賛し、植樹資金を学校法人に寄付

1968(昭和43)年

- 3.28 教育後援会が大学に寄贈した体育会館および実技場の解体被褥式を挙げる
- 4. 8 重要事項を諮問する機関として、歴代会長会議を開催することが決定
- 4.15 総会における弁当と記念品を参加者に配付することが決定
- 5.12 総会を初めて千里山学舎体育館で開催
- 10.14 『会報』への学生運動関係記事の掲載が決定



初めて千里山学舎体育館で開催された総会

1969(昭和44)年

- 2.17 新入生への入学記念品として、学園歌集のレコードを贈ることが決定
- 3.10 松浦莫章画伯の学園風景画(油絵)からカラー絵はがきを作成し、総会および地方父兄懇談会の記念品とすることと、学園歌集レコードのタイトルを「われら関大生」として1万枚製作することが決定
- 6. 9 大学紛争の影響で業務遂行に支障が生じた場合、教育後援会では森本靖一郎幹事長宅を臨時執務場所とすることが決定
- 6.24 大学紛争の早期解決を求め、大学に要望書を提出、森本靖一郎幹事長宅で広報部会を開催、会報特別号を発刊・発送することが決定



松浦莫章画伯の学園風景画による絵はがき

- 7.21 『会報』特別号を刊行、大学紛争問題を特集、教育後援会の事務は森本靖一郎幹事長宅で行うことと、近郊父兄懇談会はいかなる状況下においてもできるかぎり開催することが決定
- 9.20 学内の秩序維持、暴力行為の絶滅、授業再開についての決議を大学当局に提出
- 9.21 大学紛争によって卒業や進級に支障をきたさないよう求める要望書を大学当局に提出
- 11.21 『会報』(特別号2)を刊行、大学紛争問題を統報



開学以来初めて学内に駐留した警察官

- 10.23 植田正路元会長からの寄付によって建設することとなった飛鳥文化研究所・植田記念館の地鎮祭を挙げる
- 11.30 入会金と会費の納入方法も変更し、会則を「前期授業料とともに年額分を納入する」と改正



竣工した飛鳥文化研究所・植田記念館

## 1970年代

### 1970(昭和45)年

- 3.20 会報特別号の印刷・発刊にあたり、大宝印刷株式会社への感謝状贈呈が決定
- 8.25 『会報』(特別号3)を刊行



高い評価を受けた『会報』特別号

### 1971(昭和46)年

- 1.18 先生のプロフィールを紹介した「学部紹介」の全学編を編集し、1971(昭和46)年度当初に発刊することが決定
- 3.30 「先生の横顔」を別冊で発行することが決定
- 6.1 関西大学職員録『先生の横顔』を刊行
- 11.15 私立大学に対する国庫補助促進運動への協力について決議

### 1972(昭和47)年

卒業生に贈る卒業記念品を卒業証書ファイルに変更

- 5.21 総会で高松塚古墳発掘の様子をパネルで展示
- 9.30 新入生父母向けガイドブックとして『関西大学 父兄のためのガイド』を刊行



別冊で発行された「先生の横顔」

### 1973(昭和48)年

- 3.19 会報購読制度を設けることが決定
- 10.27 植田正路名誉会長夫妻から研修施設設立資金6,000万円を、教育後援会を通じて学校法人関西大学へ寄付



刊行された「関西大学 父兄のためのガイド」

### 1974(昭和49)年

- 7.5 国庫補助促進のための署名請願の要望書(はがき)を『会報』とともに会員に配付

### 1975(昭和50)年

- 3.26 私立大学に対する国庫補助促進運動署名者数81,000余名を達成
- 4.3 飛鳥文化研究所・植田記念館の竣工式を挙げる
- 4.29 関西大学の専任教員による「飛鳥史学文学講座」を明日香村中央公民館において開講、第1講の講師は文学部の横田健一教授、演題は「帝都としての飛鳥の歴史地理学的位置」
- 11.15 運営基金規程が制定、大学の学費・諸費の納入手続き変更に伴い入会金については、これまでの「大学の入学金とともに納入する」を「大学授業料とともに納入する」に変更、大学創立90周年記念事業における募金活動に対して全面協力することが決定
- 12.19 大学の理事会で植田正路元会長からの寄付申出を報告

### 1976(昭和51)年

- 3.5 植田正路元会長から教育後援会を通じて学校法人関西大学へ預金・株式・土地による総額7億数千円が寄贈
- 4.8 学校法人関西大学が教育振興植田基金を設置するに伴い、同基金運営委員会の事務が本会に委託
- 5.30 創元社から『講座 飛鳥を考えるI』を刊行
- 11.13 学費未納による除名措置および授業料納入方法の改善に関し、学校法人関西大学に要望書を提出することを決議、同日付で提出



久井忠雄理事長(左)と握手する植田正路元会長(右)

### 1977(昭和52)年

- 4.28 飛鳥文化研究所・植田記念館増改築竣工式を挙げる
- 10.29 映画「飛鳥とともに」の製作が決定
- 12.20 創元社から『講座 飛鳥を考えるII』を刊行



刊行された『講座 飛鳥を考える』(I~III)

### 1978(昭和53)年

- 5.9 映画「飛鳥とともに」が完成
- 7.20 『会報』(第50号)を刊行、初めてカラーグラビアを掲載
- 11.18 現行の「父兄懇談会」の名称を「教育懇談会」に改めることが決議

12.15 『会報』(第51号)を刊行、新誌名および表紙レイアウトを募集

12.20 創元社から『講座 飛鳥を考えるⅢ』を刊行

1979(昭和54)年

この年から「父兄懇談会」を「教育懇談会」に改称

7.15 『会報』(第53号)を刊行、本号から『会報』の表紙をカラー写真に刷新

11.14 三木大吉名誉会長が大学にキャンパス内樹木用肥料を寄付



『会報』第53号

## 1980年代

1980(昭和55)年

3.20 中義勝先生著『草引きの原則』を刊行、駈々堂からは『飛鳥の歴史と文学①』刊行

4.25 会報(第55号)を刊行、誌名を『葦』と改称、万葉書作家の鈴木葩光氏揮毫の題字を使用

6.29 就職説明懇談会を4年次生父母対象に初めて開催



刊行された中義勝先生著『草引きの原則』

1981(昭和56)年

3.22 就職説明懇談会を3年次生父母対象に開催

4.20 駈々堂から『飛鳥の歴史と文学②』を刊行

1982(昭和57)年

4.25 会報『葦』(第61号)刊行、総ページ数が初めて200ページ超え

8.20 駈々堂から『飛鳥の歴史と文学③』を刊行



誌名を『葦』に改称した会報(第55号)

1983(昭和58)年

3.18 入学祝として新入生に贈呈するカセットテープ「関西大学讃歌」が完成

1984(昭和59)年

5.29 関西大学創立100周年記念映画の製作資金として2,500万円を大学に寄付

12.15 駈々堂から『飛鳥の歴史と文学④』を刊行



刊行された『飛鳥の歴史と文学』(①～④)

1985(昭和60)年

4.27 会報『葦』(第70号)を刊行、題字デザインは北村洋氏

1986(昭和61)年

3.16 関西大学創立100周年記念事業「日・印共同学術調査」に対する1億円の特別援助を承認

4.25 会報『葦』(第73号)を刊行、再び題字を万葉書作家の鈴木葩光氏による墨跡を使用

6.3 関西大学創立100周年記念事業「日・印共同学術調査」に対する特別援助金として1億円を大学に寄付

11.2 関西大学創立100周年記念式典が挙行政され、教育後援会および千寿会から計3,100人の会員が出席

11.4 関西大学創立100周年を記念して、文学博士の末永雅雄 関西大学名誉教授著『常歩無限—関西大学考古学廿年の歩み—』を刊行、全会員および関係者に配付



大学創立100周年記念祝賀会



発刊された末永雅雄先生著『常歩無限—関西大学考古学廿年の歩み—』

1987(昭和62)年

2.3 予算編成に伴い監査法人による監査の導入が決定

4.6 飛鳥文化研究所・植田記念館の利用者数増加に伴う施設拡充の必要に応えるため、同館に隣接して建設を進めてきた新館が完成、竣工式を現地で挙行政

4.30 関西大学創立100周年記念事業の一環として大学と共同で製作を進めてきた記念映画「関西大学風雪の歴史」(歴史篇・29分)と「燃ゆる関西大学」(現代篇・43分)が完成

この年に小川實会長による学園の「桜の園」計画(200品種に及ぶ桜の三年苗1,500本の植栽)が完了



上空から撮影した飛鳥文化研究所・植田記念館

1988(昭和63)年

3.6 地方教育懇談会で上映する「燃ゆる関西大学」(ダイジェスト版)の製作ならびに飛鳥文化研究所・植田記念館の増築竣工を記念した映画「飛鳥とともに」(改訂版)の製作について承認

4.20 映画「燃ゆる関西大学」(総集篇・35分)と、映画「飛鳥とともに」(改訂版・30分)が完成

6.2 「日・印共同学術調査」(祇園精舎遺跡第3次調査)に対する特別援助について承認



日・印共同学術調査団と慰問激励団の一行

1989(平成元)年

5.20 関西大学100周年記念会館の管理・運營業務および関西大学学生国際交流館・秀麗寮の食堂給食業務の大学からの委託について承認

## 1990年代

1991(平成3)年

1.8 飛鳥文化研究所・植田記念館が奈良県景観調和デザイン賞会長賞を受賞

1993(平成5)年

この年から入学祝として新生に贈呈する「関西大学歌集」を、カセットテープからCDに刷新

1994(平成6)年

5.15 総会を第2体育館(現 千里山中央体育館)において初めて開催

1995(平成7)年

- 3. 5 阪神大震災で被災した本学学生に対する教育後援会費等の減免措置について了承、4月1日から増地英一幹事を幹事長に、学校法人関西大学の常務理事に就任する森本靖一郎幹事長を本会の常任顧問に委嘱することについて了承
- 4. 2 飛鳥文化研究所・植田記念館創設20周年記念式典を挙行
- 12. 3 工学部就職説明懇談会において、3年次生父母とともに2年次生父母も対象として開催

1996(平成8)年

- 3.10 本会創立50周年記念事業として山の家を建設し、大学に寄贈することが承認、本会の平成8年度予算において運営基金および特別記念事業資金の積立金のうちから3億5,000万円を取り崩し、この建設費に充当することが決定、文科系学部・総合情報学部就職説明懇談会を開催、3年次生父母とともに2年次生父母も対象として実施
- 5.18 会員子女ならびに本会役員および関西大学職員の弔慰に関する規程、本会職員の就業規則および関連諸規程の制定について承認
- 6. 5 関西大学梅池高原山の家(仮称)の地鎮祭を挙行
- 10.27 総合情報学部2・3年次生父母対象就職説明懇談会を高槻キャンパスで初めて開催

1997(平成9)年

- 6.10 教育後援会創立50周年記念講演会および祝賀会を挙行
- 6.17 関西大学白馬梅池高原ロッジ竣工式ならびに大学への譲渡式を挙行

1999(平成11)年

- 4. 1 増地英一幹事長が学生サービス事務局長就任のため、新しく大馬征次事業局次長が幹事長に就任
- 5.15 東京三菱銀行が所有する六甲山にある山荘を買収して、学生のセミナーハウスおよび教職員の福利厚生施設として大学に寄贈するための購入費用を含めた予算案が了承



CD「関西大学歌集」



網干善教授による  
本会創立50周年記念講演会



本会創立50周年記念祝賀会で  
功労表彰を受けた歴代会長・幹事長



白馬梅池高原ロッジの大学への譲渡式

5.28 松浦莫草画伯遺作展として絵画60点を100周年記念会館に展示

10.19 関西大学六甲山荘の開所式を挙行

2000年代

2000(平成12)年

3.31 『関西大学教育後援会五十年史』を発刊

2001(平成13)年

10. 7 就職説明懇談会で1996(平成8)年度会長の野村明雄大阪ガス(株)取締役社長による特別講演を実施

この年に『関西大学115年のあゆみ』を全会員に送付

2003(平成15)年

10. 5 スポーツ・フロンティア入試制度による入学生の生活拠点となる寮を大学に寄贈するための建設費用を含めた補正予算案が了承、就職説明懇談会で校友の大坪文雄松下電器産業(株)代表取締役専務による特別講演を実施

2004(平成16)年

2.19 千里凱風寮が完成、竣工式を挙行し大学へ寄贈

10. 3 就職説明懇談会で校友の南部靖之(株)パナソニック代表取締役グループ代表兼社長による特別講演を実施

この年の地方教育懇談会では、15会場のうち5会場において地元のUターン就職に成功した学生による就職活動体験報告を初めて実施、10月に相次いだ中越地震、台風23号による被災者に対して義援金を送るなどの支援を実施

2005(平成17)年

5.13 会報『葦』(第130号)を刊行、A4判・オールカラーページに刷新

11.27 千寿会が50周年記念祝賀会を開催、『我が子の母校は我が母校-千寿会50年のあゆみ-』を発刊

10. 2 就職説明懇談会で1996(平成8)年度会長の野村明雄大阪商工会議所会頭・大阪ガス(株)取締役会長による2度目の特別講演を実施

12. 4 奥田務関西経済連合会副会長・(株)大丸取締役会長兼CEOによる特別講演を実施、1年次生父母を対象としたキャリアデザインセミナーを初めて開催



野村明雄氏による特別講演が  
実施された就職説明懇談会



大坪文雄氏による特別講演が  
実施された就職説明懇談会



南部靖之氏による特別講演が  
実施された就職説明懇談会



A4判・オールカラーページに  
刷新された会報『葦』(第130号)

2006(平成18)年

- 5.21 冬季トリノオリンピック・フィギュアスケートで活躍の高橋大輔選手(文3)が総会で挨拶
- 12. 3 本会が創立60周年を迎えるにあたり、記念式典の挙行、地方教育懇談会における2会場の追加開催とともに、新たな記念事業については今後、常任委員会で企画・検討していくことが決定
- 12.25 会報『葦』(第135号)を「関西大学創立120周年記念号」として発刊



本会創立60周年記念式典でのくす玉開き

2007(平成19)年

- 5.20 フィギュアスケートの織田信成選手(文3)が総会で挨拶
- 7. 1 本会が創立60周年を迎え記念式典・アイスショーをアイスアリーナで開催、『教育後援会60年のあゆみ』を発刊、白馬梅池高原ロッジの拡充・整備資金を大学に寄贈
- 8. 7 会報『葦』(第137号)を「関西大学教育後援会創立60周年記念号」として発刊
- 10.14 就職説明懇談会で校友の野田順弘(株)オービック代表取締役会長兼社長による特別講演を実施
- 12. 2 委員会において「教育会館」の改修に必要な基金の積み立てについて審議、改修よりも次世代に誇れる建物の建設を促す意見があり、後日常任委員会において検討、その結果、建て替えの方向で計画が進み、大学と校友会も含めた3者協同で建設することが決定
- 12.26 白馬梅池高原ロッジに別館がオープン



野田順弘氏による特別講演が実施された就職説明懇談会

この年の4月からセミナーハウスの利用申し込みが本会に一元化

2008(平成20)年

- 1.20 飛鳥史学文学講座受講者が延べ9万人超え
- 4.26 校友・父母会館の地鎮祭を挙行



飛鳥史学文学講座開講式の様子

2009(平成21)年

- 3.12 校友・父母会館が竣工、石像「ふくろう」、油彩画9点が寄贈
- 4. 1 新入生に対し入学記念品として特製クリアファイルを初めて贈呈
- 5.17 新型インフルエンザの影響により、出席者全員にマスクを配付して総会を開催、感染拡大防止のため、午後からの学部別教育懇談会・その他催しをすべて中止
- 7.12 5月の学部別教育懇談会の中止をうけて、4年次生父母対象の個人面談会を実施
- 10. 4 5月の学部別教育懇談会の中止をうけて、3年次生父母対象の個人面談会を実施



出席者全員がマスクを着用のうえ開催された総会

- 12. 6 5月の学部別教育懇談会の中止をうけて、1・2年次生父母対象の個人面談会を実施

この年の地方教育懇談会から、学生数が比較的多い福岡市、広島市、岡山市、高松市、松山市、金沢市、名古屋市については毎年開催とし、その他の都市についてはこれまでどおり隔年開催を基本とすることとなり、この原則は2012(平成24)年度まで継続

2010年代

2010(平成22)年

- 4.11 飛鳥史学文学講座が「やまと・あすか・まほろば塾」に充実・刷新

2011(平成23)年

- 5.14 東日本大震災で被災された新入生を含む学生に対する本会入会金および会費の減免措置による会費収入の減額および「関西大学災害特別義援金」として100万円の助成費の増額に伴う補正予算案が了承

この年から「保護者ポータル」がオープン、新入生の父母・保護者に対する入学記念品として「4カ年日記」を贈呈



新入生の父母・保護者向け入学記念品「4カ年日記」

2012(平成24)年

- 4. 1 新入生に対し入学記念品として転写式「リアルペイントシート」を初めて贈呈
- 9.10 本会と所縁のある高松塚古墳の発掘40周年と万葉書作家の鈴木葩光氏の書家60周年を記念して、博物館で記念特別展「飛鳥とともに」が開催
- 10. 1 大瀧征次幹事長の退任に伴い、横山博行理事長付局長が新幹事長に就任



教育後援会facebookページ

2013(平成25)年

- 4. 1 facebookページがオープン、『関西大学ガイド』から「先生の横顔」を割愛し、新たに「学園散策」と「関大四季」を掲載
- 4.26 会報『葦』(第154号)を発刊、裏表紙に村居正之画伯のキャンパス風景画を初めて掲載
- 10.28 本会ホームページのスマートフォン専用サイトを開設

この年から記念品として絵葉書「関大四季」を製作

2014(平成26)年

- 3.20 卒業生に対し、これまでの栞(ブックマーク)に替わり、卒業記念品として特製パステースを贈呈



村居正之画伯作「桜舞う(関大正門)」

- 4.28 飛鳥文化研究所・植田記念館開設40周年並びに飛鳥史学文学講座開講40周年記念映画「飛鳥とともに」が完成

この年の3月に「谷澤永一先生旧蔵自著」を受贈、記念品として村居正之画伯のキャンパス風景画をモチーフにした一筆箋を製作



『わが子の母校は我が母校  
— 千寿会60年のあゆみ —』

## 2015(平成27)年

- 9.27 「関西大学フェスティバルin九州」を大学と校友会との共催で福岡市にて開催

## 2016(平成28)年

- 1.16 千寿会が創立60周年を迎え記念式典を開催、『わが子の母校は我が母校-千寿会60年のあゆみ-』を発刊
4. 1 新幹事長に川畑一成理事長付局長が就任
4. 8 『関西大学ガイド』のオールカラー化に伴い、タイトルを『みちしるべ-関西大学の4カ年-』に刷新・充実
8. 2 大学創立130周年記念事業の一つである「新アクセス・エリアの創出」において、エリア内のエスカレーターおよび周辺環境整備に係る費用3億円を本会創立70周年記念事業の一環として、分割で大学に寄付することが決定
- 8.20 「関西大学フェスティバルin 四国」を大学と校友会との共催で高松市にて開催
- 8.31 本会から寄贈のエスカレーターが整備された、千里山キャンパスの新たな玄関口「新アクセス・エリア」が竣工
12. 4 本会が創立70周年を迎えるにあたり、大学創立130周年記念事業への協力に加え、記念事業として、①記念式典・アイスショーの挙行、②記念誌の刊行、③「るるぶ特別編集大学版」の刊行、④キャンパス風景写真コンテストの実施、を行うことが決定



オールカラー化で刷新された  
『みちしるべ-関西大学の4カ年-』



創立130周年記念事業への協力に対する  
大学からの感謝状の贈呈

## 2017(平成29)年

- 4.14 本会創立70周年記念事業として、『るるぶ特別編集関西大学』を発刊
- 4.20 大学側の編集・発行で「先生の横顔」が復刊
- 4.28 『みちしるべ-関西大学の4カ年-』を全面リニューアル、「先生の横顔」を併載
- 6.17 白馬梅池高原ロッジ創設20周年記念式典を挙行
- 6.28 本会創立70周年記念事業として、「こころに残る“私の関大”写真展」を実施
7. 2 本会が創立70周年を迎え記念式典・アイスショーをアイスアリーナで開催、『関西大学教育後援会七十年のあゆみ~わが子の母校はわが母校~』を発刊



発刊された『るるぶ特別編集関西大学』